

武田氏最後の拠点

韮崎市

七里岩の先端に武田氏再起をかけた武田勝頼が新府城を築城した。しかし、再起はかなわず、武田氏滅亡後は天正壬午の乱で徳川氏の城として、北の能見城と共に対北条氏の城として使われた。この地は、武田氏から徳川氏へと移る激動の舞台であった。

スタート
穴山駅 1.3km 20分

⑥ 能見城跡
新府城の防壁として造られた城。山の中には土塁が、穴山駅の南側には堀切などが見られる。天正壬午の乱では北東にある堂坂の砦と共に、徳川氏が対北条氏用の最前線の城として使用した。

3.5km 40分

⑦ 新府城跡
武田勝頼が長篠の戦いで織田・徳川連合軍に敗れた後、築かれた城。細長く切り立つ七里岩の上にたち、南に大きな三日月堀をもつ大手門や他の城にはない出構などを造り、武田氏の築城技術の集大成といえる城で、国の史跡に指定されている。

650m 10分

⑧ 光明寺
木曾氏の墓がある寺。武田勝頼の家臣であった木曾義昌が織田氏へ寝返ったことにより息子の千太郎と妹、乳母が処刑されこの地に眠る。境内には市の天然記念物であるカシの木がある。

3.1km 45分

⑨ 若宮八幡宮
この地域の産土神で、天正十三(1585)年の棟札(韮崎市指定文化財)によると9世紀頃創建と伝えられる。天正十一(1583)年に社殿が倒壊し、天正十三年に徳川氏が土地を安堵して、七里岩の上から現地へ復興した。境内の鶴亀の松は韮崎市天然記念物に指定されている。

1.7km 30分

⑩ 新府駅 40分

ゴール 3.5km

⑪ 大坪古戦場跡
享祿四(1531)年の河原部合戦で信濃の諏訪頼満が甲斐へ攻めてきたときに武田信虎がこの地で迎え撃った。この付近に殿田、旗田などの陣に関する地名が存在する。

⑫ 新府城跡
新府城跡北側に堀へ水を供給したとされる桜ヶ池や湧水口がありましたが、今は残っていません。

⑬ 若宮八幡宮

⑭ 木曾氏の墓

⑮ 新府城跡

⑯ 大坪古戦場跡

⑰ 能見城跡

⑱ 新府駅

⑲ 新府城跡

⑳ 新府城跡

㉑ 新府城跡

㉒ 新府城跡

㉓ 新府城跡

㉔ 新府城跡

㉕ 新府城跡

㉖ 新府城跡

㉗ 新府城跡

㉘ 新府城跡

㉙ 新府城跡

㉚ 新府城跡

㉛ 新府城跡

㉜ 新府城跡

㉝ 新府城跡

㉞ 新府城跡

㉟ 新府城跡

㊱ 新府城跡

㊲ 新府城跡

㊳ 新府城跡

㊴ 新府城跡

㊵ 新府城跡

㊶ 新府城跡

㊷ 新府城跡

㊸ 新府城跡

㊹ 新府城跡

㊺ 新府城跡

㊻ 新府城跡

㊼ 新府城跡

㊽ 新府城跡

㊾ 新府城跡

㊿ 新府城跡